



週間情報



No.0128

発行日 令和元年7月30日

発行所 全国消防長会
一般財団法人全国消防協会

担当 企画部企画課 03(3234)1321

両会の動き

◆ 広報事務担当者研修会・法制執務研修会を大分県（九州支部）において開催

全国消防長会

全国消防長会は、令和元年7月26日（金）、大分県大分市（トキハ会館）において、全国消防長会九州支部の協力のもと、同支部内において広報や渉外を担当している職員等に対し、広報事務担当者研修会及び法制執務研修会を開催しました。

当日は、約100名の消防職員が参加し、広報事務担当者研修会では、広報能力の向上を図るため、日本放送協会大分放送局から、放送部副部長の本木氏を講師に招き、「災害報道の現状」と題して講義をしていただきました。

法制執務研修会では、消防本部内のリスク管理やコンプライアンスの充実を図るため、全国消防長会顧問弁護士である木下健治氏を講師に迎え、「消防関係判例100」を用いて、警防関係、救急関係、予防関係、危険物関係、情報公開関係等に関する判例等について講義していただきました。

研修会の後には、全国消防保険サービス株式会社の鈴木社長より、業務中の賠償リスクと保険についての説明も併せて実施しました。



【広報事務担当者研修会の様子】



【法制執務研修会の様子】

消防本部の動き

行事

◆ 消防体験活動を実施

日光市消防本部（栃木）

日光市消防本部では、令和元年7月21日（日）、地域のスポーツクラブと連携し、火災予防啓発及び住宅用火災警報器普及啓発と合わせて、消防体験活動を実施しました。

日光市に拠点を置く「日光スポーツクラブ ジュニアユース」の中学生（男子）35名が参加して、午前の部は「ジュニアパラメディック」（救命入門コース）を受講し、午後の部は「消防体験」と称して「消防訓練礼式」「ロープ渡過」「ロープ懸垂降下」「はしご車搭乗」の活動を体験しました。

思春期を迎えている中学生にとって、訓練礼式での規律ある行動、大きな声を出す発声訓練では、はじめは、恥ずかしさなどの抵抗があったものの、指導をする救助隊員の熱い想いが伝わり、最後には、見違えるような規律行動と発声が出来るようになりました。

その成果もあり、ロープ渡過訓練及びロープ懸垂降下訓練にのぞむ姿は清々しく、日本の明るい未来が垣間見えた瞬間でした。

当訓練を通じて、地域の中学生への消防体験活動が与える影響は、青少年育成にとっても重要な価値のあるプログラムになることを実感しました。



【活動終了後の全体写真】



【ジュニアパラメディック受講の様子】

訓練・演習

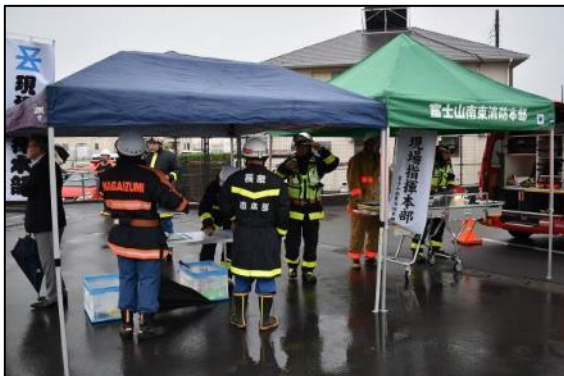
◆ 消防署と消防団の合同訓練を実施

富士山南東消防本部（静岡）

富士山南東消防本部では、令和元年7月14日（日）、長泉消防署と長泉町消防団の合同訓練を実施しました。

今回の訓練は、消防本部の現場指揮本部と消防団の現場指揮本部を併設し、状況把握と情報共有をより密接に行う訓練や、消防団のポンプ自動車から消防署のポンプ自動車へ迅速な中継送水体制を構築するための送水訓練など、消防署及び消防団が円滑に連携を図ることを目的として実施しました。

当消防本部は、今後も消防団との連携を深めて災害に確実に適切な対応を行っていきます。



【訓練の様子】

研 修 等

◆ 埼玉県消防協会上尾支部団員研修を実施

上尾市消防本部（埼玉）

上尾市消防本部では、令和元年7月21日（日）、埼玉県消防協会上尾支部団員研修を実施しました。

埼玉県消防協会上尾支部は、上尾市消防団、桶川市消防団及び伊奈消防団で構成され、支部役員・団員合計130名が研修を受講しました。



【団員研修の様子】

今年度は、これまでとは趣向を変え、落語家の三遊亭鳳志（さんゆうていほうし）師匠をお招きし、防災落語を企画。手作りの高座にも関わらず快く引き受けてくださり、当日は弟子の三遊亭鳳月（さんゆうていほうづき）さんとともに三つの演目をお話しいただきました。

参加された消防団員からは、「落語特有の笑い、また感動の涙を誘う迫真の演技が印象的で、被災者が協力して助け合う「共助」の重要性を改めて感じました。」などの声が寄せられました。

そ の 他

◆ 予防技術資格者認定証交付式を実施

草加八潮消防局（埼玉）

草加八潮消防局では、令和元年7月12日（金）、予防技術資格者認定証交付式を執り行いました。

高度化・専門化する予防業務を的確に行うため、火災の予防に関する高度な技術及び知識を有する消防職員7名に対し、浅井厚紀消防長から認定証と標示章が交付されました。

認定された消防職員は、標示章を身につけ、職責に対する自覚と誇りをより一層持つことができたと言っていました。

今回の認定証の交付を契機に、今後、若い職員が予防業務に興味を示し資格取得を目指すことで、組織全体の予防業務が高度化することが期待されます。



【交付式の様子】

◆ 久里浜ペリー祭にて消防団活動のPRを実施

横須賀市消防局（神奈川）

横須賀市消防局では、令和元年7月13日（土）、当市が主催する水師提督ペリー上陸記念式典において、横須賀市消防団音楽隊が演奏を行いました。

この式典は、1853年にペリー提督が4隻の軍艦を率いて横須賀沖に来航したことを記念し、米国大使をはじめ、多くの米海軍関係者を招待し開催され、荘厳な雰囲気の中、音楽隊により米国国歌ならびに日本国国歌が演奏されました。

その後行われた、日米親善パレードでは、地元消防団車両とともに行進し、演奏を通じて防火の重要性や消防団活動のPRを実施しました。



【横須賀市長と米国国防武官による献花の様子】



【パレードの様子】

◆ 高齢男性を救助した中学生3名を表彰

薩摩川内市消防局（鹿児島）

薩摩川内市消防局では、令和元年7月17日（水）、川内南中学校校長室で、一般消防協力者表彰式を行いました。

令和元年6月13日（木）16時30分頃、下校途中に、畑で倒れている男性に妻が呼びかけているところを発見。3名は駆け寄り、呼びかけを実施しました。反応が鈍いと感じ熱中症を疑い、すぐさま男性の妻に、氷と水を家から持って来るよう依頼し、1名は男性の妻と一緒に男性宅へ向かい、氷と水を受け取ると、素早く現場へ戻り、3名で協力して男性の上着を脱がせ、両脇に氷を当てて、体温を下げる応急手当を施しました。

その後、男性への呼びかけを継続し、観察を行いながら救急隊の到着を待ち、駆けつけた救急隊が病院へ搬送し、男性は無事でした。

3名は、昨年10月、市内の中学2年生全員を対象にした3時間の救命講習を受講していました。この講習会は、当市が2014年度に始めた独自の試みで、これまでに約4千人が受講しています。



【表彰式の様子】

◆ 令和元年度花火教室を開催

熱海市消防本部（静岡）

熱海市消防本部では、令和元年6月12日(水)から7月19日(金)まで、熱海市内の幼稚園、保育園、認定子ども園の11施設を対象に、防火教育の一環として花火教室を実施しました。

この教室は、防火意識の高揚や、玩具花火による事故防止を図るために毎年行っています。

園児達は、初めに防火映画で「火事が起きたら自分で消そうとせず、口と鼻を覆って姿勢を低くして逃げる」等を学び、「火遊びは絶対しない」「火を取り扱う時は大人と一緒にする」と約束しました。

その後は、消防職員や先生達と共に実際に花火を手にも、安全で楽しい花火の遊び方を学びました。



【花火教室の様子】



【防火講話の様子】

◆ 救命講習を学べる演奏会を開催

千葉市消防局（千葉）

千葉市消防局では、令和元年7月20日（土）、消防音楽隊サマーコンサートを開催しました。

約250名の方が参加した今回は「救命講習」をテーマに、来場されたお客様の中から3名に舞台上で胸骨圧迫を体験していただきました。

アンケートには「今度時間を作って、救命講習を受けようと思った。」など、大変興味を持っていただけました。

千葉市消防音楽隊は“学べる演奏会”として、これからもコンサートを開催してまいります。



【救命講習の様子】



【胸骨圧迫を体験している様子】

◆ 消防団PRビデオ・消防団PR応援SONGの製作及び職員研修を実施

三郷市消防本部（埼玉）

三郷市消防本部では、令和元年7月5日（金）から7月22日（月）まで6回に分けて、消防職員に対し、地域防災における消防団の重要性について職員研修を実施しました。

また、消防団の増員・活性化を目的に「三郷市消防団PRビデオ～守りたいものがある～」と、消防団応援SONG「地域のHERO～まるで違う？消防団～」を、地元出身の双子のタレント「Mika+Rika」さん（三郷市PR大使）の協力を得て製作しました。

研修を終えて、消防団の必要性について理解が深まりました。



【Mika+Rikaがお届け 消防団の全て】



【全ての頑張っている消防団へ届け！】

◆ 消防スケッチ大会表彰式を実施

鹿児島市消防局（鹿児島）

鹿児島市消防局では、令和元年7月22日（月）、消防スケッチ大会の入賞者10名（最優秀賞1、優秀賞3、優良賞6）に対し、安楽消防局長から表彰状の贈呈を行いました。

「消防スケッチ大会」は、鹿児島市内の小学校に通う4年生を対象に、消防車や消防隊員を描くことで、消防を身近に感じ、ふれあいを持つことにより、小学生の時期から火災予防に対する意識の高揚を図ることを目的として平成25年から開催しており、今年も当消防局の消防総合訓練研修センターで、5月12日（日）に開催しました。

大会には、100名近くの参加があり、消防車両や救助訓練の様子を熱心に描き、合間で、消火器での消火及び防火衣の着装などを体験してもらいました。描かれた作品は、市内の大型商業施設で展示するほか、最優秀賞児童には、秋の火災予防運動期間中に1日消防署長を委嘱し、各種火災予防広報を行ってもらおう予定としています。



【入賞児童の皆さん】



【スケッチ大会の様子】

◆ 消防日傘ファイアーアンブレラで熱中症対策！～PRグッズで日傘男子の定着を～

豊橋市消防本部（愛知）

豊橋市消防本部では、令和元年7月23日（火）、消防士への憧れプロジェクトとして展開しているPRグッズ企画で地元企業と連携し、消防車のロゴを入れた日傘を作製・発表しました。

企画の目的にある消防情報の発信として、今回は、夏季の熱中症対策である日傘の活用とあわせて、熱中症の症状や応急手当の紹介を行うほか、消防士、消防団へ憧れをもってもらおうとファイアーヒーローズと題したイラストと、PR動画のQRコードを載せたチラシを包装として傘に巻いて啓発します。

傘のイラストには、日傘男子の定着を図るため、当消防本部が誇る最新鋭はしご車「レッドジラフ54」をプリントすることで男性や男児も気軽に日傘を手にとってもらえるように工夫しました。



【包装チラシ】

消防士への憧れプロジェクトはこちらから➡

URL : <http://www.city.toyohashi.lg.jp/30892.htm>



【レッドジラフ54の前でファイアーアンブレラをPR】

◆ 消防協力者に感謝状を贈呈

有田川町消防本部（和歌山）

有田川町消防本部では、令和元年7月23日（火）、当消防本部において、消防協力者の男性4名に感謝状を贈呈しました。

男性4名は、本年6月、管内を流れる有田川で、鮎釣り中に流されていた心肺停止状態の高齢男性に対し、迅速な119番通報と的確な心肺蘇生法を行いました。救急隊到着時には、呼吸、心拍ともに再開しており、ドクターヘリで医療機関に収容。男性は数日間の入院を経て退院し、現在社会復帰されています。

ひとりの尊い命を救った4名の勇気ある行動に、敬意を表します。



【表彰式の様子】

消防庁通知等

◆ 有害使用済機器及び産業廃棄物の保管場所等の防火対策等に係る関係部局との連携について (事務連絡、令和元年7月18日)

消防庁消防・救急課、消防庁予防課、消防庁危険物保安室から各都道府県消防防災主管課、東京消防庁・各指定都市消防本部あてに事務連絡が発出されましたので、お知らせします。

令和元年5月15日に、茨城県常総市坂手町地内の有害使用済機器又はその疑いのある物の保管場所における火災が発生し、また、全国各地の産業廃棄物処理施設等においても火災が発生している状況にあることから、環境省は、別添の「有害使用済機器及び産業廃棄物の保管場所等における火災防止について（通知）」において、有害使用済機器及び産業廃棄物の適正な保管及び処分が行われるよう、都道府県等の産業廃棄物行政担当部局に対し、指導の徹底を通知しています。

(別添省略)

—以下省略—

○ 全文は、消防庁ホームページ

(<https://www.fdma.go.jp/laws/tutatsu/items/6ddb3d922b9dbd5f0d24e7fb09328814f7173643.pdf>) に掲載されています。

＜警防計画の策定に関すること＞
消防庁消防・救急課警防係
担当：本田係長、黒谷事務官
電話：03-5253-7522
＜火災予防に関すること＞
消防庁予防課予防係
担当：吉田係長、上村事務官
電話：03-5253-7523
＜危険物等の保安に関すること＞
消防庁危険物保安室指導調査係
担当：小島係長、大西事務官
電話：03-5253-7524

◆ 重大な消防法令違反対象物の措置状況等に係る調査結果等について（通知）

(消防予第94号、令和元年7月23日)

消防庁予防課長から各都道府県消防防災主管部長、東京消防庁・各指定都市消防長あてに通知が発出されましたので、お知らせします。

「重大な消防法令違反対象物の措置状況等に係る調査等について」（平成31年4月2日付け消防予第112号）により実施した「重大違反対象物の措置状況等調査表」の調査結果を別添1のとおり、「特定用途以外の重大違反対象物に対する効果的な取組状況について」を別添2のとおりとりまとめましたのでお知らせします。(別添1及び2省略)

—以下省略—

○ 全文は、消防庁ホームページ

(https://www.fdma.go.jp/laws/tutatsu/items/190723_yobo_1.pdf) に掲載されています。

消防庁予防課 企画調整・制度・防災管理係
鈴木違反処理対策官、坂本係長、段総務事務官
電話：03-5253-7523 FAX：03-5253-7533
電子メール：r.dan@soumu.go.jp

◆ 男性職員の育児休業等の取得促進について

(消防消第 1 2 2 号、令和元年 7 月 2 3 日)

消防庁消防・救急課長から各都道府県消防防災主管部長、東京消防庁・各指定都市消防長あてに通知が発出されましたので、お知らせします。

男性職員の育児休業等の取得促進について、令和元年 7 月 12 日付け総行女第 15 号にて、別添のとおり通知されておりますのでお知らせします。(別添省略)

平成 29 年度の消防部門の男性職員の育児休業取得率は 0.8% となっており、同年度における地方公共団体全体 (4.4%) と比しても低くなっていることから、より一層の取組が必要とされる場所です。

各団体におかれては、男性職員の育児休業等の取得促進に関し、積極的な取組を行っていただきますようお願いいたします。

—以下省略—

○ 全文は、消防庁ホームページ

(https://www.fdma.go.jp/laws/tutatsu/items/190723_syoukyu_122.pdf) に掲載されています。

連絡先

消防庁消防・救急課阿部、田村、高木

電話：03-5253-7522

e-mail：shokuin@soumu.go.jp

◆ エアゾール式簡易消火具の不具合に係る注意喚起等について

(消防予第 8 8 号、令和元年 7 月 2 4 日)

消防庁予防課長から各都道府県消防防災主管部長、東京消防庁・各指定都市消防長あてに通知が発出されましたので、お知らせします。

標記の件については、「エアゾール式簡易消火具の不具合に係る注意喚起等について」(平成 30 年 7 月 23 日付け消防予第 477 号) により注意喚起をお願いしているところです。

下記対象製品については、これまでに約 72,662 本が回収されており、近年は事故認知件数も減少傾向となっておりますが、破裂事故による人的被害も確認されていることから、各機関におかれましては、下記事項に留意し、継続的に注意喚起をお願いします。(別添 1 「『エアゾール式簡易消火具』事故発生状況」参照) (別添 1 省略)

—以下省略—

○ 全文は、消防庁ホームページ

(https://www.fdma.go.jp/laws/tutatsu/items/190724_yobou_88.pdf) に掲載されています。

<連絡先>

消防庁予防課予防係 吉田 西出

電話：03-5253-7523

FAX：03-5253-7533

◆ 給油取扱所におけるガソリンの容器への詰め替え販売に係る取扱いについて

(消防危第95号、令和元年7月25日)

消防庁危険物保安室長から各都道府県消防防災主管部長、東京消防庁・各指定都市消防長あてに通知が発出されましたので、お知らせします。

令和元年7月18日、京都府京都市伏見区において死者34名、負傷者34名（容疑者1名含まず。）の極めて重大な人的被害を伴う爆発火災が発生しました。

本火災の詳細については、管轄する消防本部等において、現在調査中ですが、ガソリンをまいて火をつけたものとみられることから、給油取扱所においてガソリンの容器への詰め替え販売をする場合には、消防法令に適合した容器を用いて行うなど消防法令の遵守を徹底するとともに、購入者に対する身分証の確認や使用目的の問いかけ、当該販売記録の作成等を石油連盟及び全国石油商業組合連合会に対して要請したところです（別添1）。（別添1省略）

—以下省略—

○ 全文は、消防庁ホームページ

(https://www.fdma.go.jp/laws/tutatsu/items/190725_kiho_95.pdf) に掲載されています。

(連絡先)

消防庁危険物保安室

担当：竹本、勝本、羽田野、辰川

TEL：03-5253-7524

FAX：03-5253-7534

報道発表

◆ 令和元年度全国少年消防クラブ交流大会を開催します

(令和元年7月22日、消防庁)

消防庁では、平成24年度から、毎年、将来の地域防災の担い手育成を図るため、消防の実践的な活動を取り入れた訓練等を通じて他地域の少年消防クラブ員と親交を深めるとともに、消防団等から災害の教訓や災害への備え等について学ぶことを目的として、「少年消防クラブ交流大会」を開催しています。

今年度は、徳島県徳島市において、7月31日から8月2日までの間、22都道府県から53クラブ364名が集結して交流大会を行います。

—以下省略—

○ 全文は、消防庁ホームページ

(<https://www.fdma.go.jp/pressrelease/houdou/items/dadacc8f2214d75650ae0520845beb7ca0c39640.pdf>) に掲載されています。

<問合せ先>

消防庁国民保護・防災部地域防災室

藤ノ木課長補佐、高山係長、北川事務官

TEL：03-5253-7561 FAX：03-5253-7576

E-mail：chiikibousai@ml.soumu.go.jp

◆ 2019年6月の熱中症による救急搬送状況

(令和元年7月23日、消防庁)

熱中症による救急搬送人員について、2019年6月の確定値を取りまとめましたので、その概要を公表します。

概 要

- 2019年6月の全国における熱中症による救急搬送人員は4,151人でした。
これは、昨年6月の救急搬送人員5,269人と比べると1,118人少なくなっています。
- 全国の熱中症による救急搬送状況の年齢区分別、初診時における傷病程度別等の内訳は次のとおりです。
—以下省略—
- 全文は、消防庁ホームページ
(<https://www.fdma.go.jp/pressrelease/houdou/items/201906.pdf>) に掲載されています。

(連絡先)

消防庁救急企画室

担当：三島、増田、新井

電話：03-5253-7529

FAX：03-5253-7532

E-Mail: kyukyukikaku-kyukyurenkei@soumu.go.jp

◆ 「全出力50kWを超える電気自動車用急速充電設備の安全対策に関する検討部会」の開催 (令和元年7月23日、消防庁)

電気自動車用の急速充電設備の高出力化に伴い、火災予防上必要な防火安全対策等について検討するため「全出力50kWを超える電気自動車用急速充電設備の安全対策に関する検討部会」を開催することとしましたのでお知らせします。

1 背景・目的

電気自動車用急速充電設備（以下「急速充電設備」といいます。）については、火災の発生するおそれのある設備として火災予防条例（例）（以下「条例（例）」といいます。）第11条の2において位置、構造及び管理の基準が規定されており、全出力が20kWを超えるものから全出力が50kW以下のものが対象となっています。

—以下省略—

- 全文は、消防庁ホームページ
(https://www.fdma.go.jp/pressrelease/houdou/items/190723_yobou.pdf) に掲載されています。

【問い合わせ先】

消防庁予防課 島村、吉田、上村

TEL：03-5253-7523（直通） FAX：03-5253-7533

◆ 「特殊消火設備の設置基準等に係る検討部会」の開催

(令和元年7月24日、消防庁)

建築物における駐車場や電気室等には、泡消火設備や不活性ガス消火設備等の特殊消火設備が設置されています。

近年、特殊消火設備と同等以上の消火性能を有する消火設備が開発されていること及び泡消火薬剤に含まれているフッ素化合物に係る環境規制の動向を踏まえ、特殊消火設備に係る新たな設置基準等を検討するため、「特殊消火設備の設置基準等に係る検討部会」を開催することとしましたのでお知らせします。

—以下省略—

○ 全文は、消防庁ホームページ

(https://www.fdma.go.jp/pressrelease/houdou/items/190724_yobo_1.pdf) に掲載されています。

(連絡先) 消防庁予防課 塩谷、田中、野崎 TEL : 03-5253-7523 (直通) FAX : 03-5253-7533
--

情報提供

◆ 令和元年度消防技術安全所検証・研究成果発表会の開催について

東京消防庁（東京）

東京消防庁消防技術安全所では、検証・研究成果を発表し、消防行政の効果的推進を図るとともに、消防防災科学の発展に寄与することを目的として、検証・研究成果発表会を下記のとおり開催いたしますのでご案内いたします。

記

1 日時

令和元年9月13日（金） 9時00分から12時00分まで

2 場所

東京消防庁消防学校5階講堂（東京都渋谷区西原二丁目51番1号）

3 参加申込

参加を希望される場合は、東京消防庁消防技術安全所ホームページ

(<http://www.tfd.metro.tokyo.jp/hp-gijyutuka/event01.html>) に掲載の「令和元年度消防技術安全所検証・研究成果発表会参加申込書」により、令和元年9月3日（金）までに、下記問合せ先へ電子メール又はFAXでお申し込み下さい。

4 発表課題

(1) 消防技術安全所員による成果発表

- ア 観測地震波を用いた身体安全確保対策等に関する検証
- イ 訪日外国人旅行者に対する防災情報の提示手段の有効性に関する検証
- ウ 発泡器具の発泡性能、消火性能等の検証
- エ 屋内空間でのドローンの活用に関する検証
- オ 消火用ホースの摩耗損傷に関する検証（第3報）
- カ 特定不燃材料で有効に仕上げをした建築物等の部分の構造に関する検証
- キ 防熱板の有効性に関する検証
- ク 繰り返し汚染に対する防護衣の性能評価
- ケ 北川式ガス検知管の性能比較に関する検証
- コ 効果的な身体冷却に関する検証
- サ サブストレッチャー及び布担架使用時における傷病者への負担についての検証

(2) 特別発表

移送ポンプ設備の位置変更に起因して発生した埋設配管からの流出事故について
(平成 30 年度危険物事故防止対策論文 消防庁長官賞)

5 その他

(1) 受付は、8 時 30 分から東京消防庁消防学校 5 階で行います。

(2) 会場の都合上、駐車場がございませんので、公共交通機関をご利用下さい。

問合せ先

東京消防庁 消防技術安全所
消防技術課 消防技術係 中山 大平
東京都渋谷区幡ヶ谷一丁目 13 番 20 号
電話 :03-3466-1515(内線 6342・6347)
FAX :03-3468-8732
E メール: gijyutuka3@tfd.metro.tokyo.jp

◆ 消防用設備等講演会「ガス系消火設備の今」

一般財団法人日本消防設備安全センター

消防用設備等講演会では、設計者・施工者・消防職員等を対象として消防用設備等に係る法令知識について講演を行い、適正な設置への更なる認識を深めて頂くことを目的としています。

今回の講演会では、急速に需要が拡大しているデータセンター等に設置されるガス系消火設備について講演を行います。各種ガス系消火設備の紹介のほか、性能、技術情報や施工に関する注意点等についても講演を予定しています。

日 時	令和元年 10 月 15 日 (火) 13:00~16:30
会 場	大阪府立国際会議場 会議室 1001~1002 大阪市北区中之島 5-3-51
参加費	無 料
定 員	180 名



講演内容 (予定)	講演者 (予定)
最近の予防行政の動向について	消防庁予防課
ガス系消火設備の今	日本消火装置工業会
安全センターの新しい取り組みとガス系消火設備の現状と課題について	安全センター

聴講を希望される方は、安全センターホームページにて事前登録をお願い致します。

なお、事前登録は 8 月 1 日 (木) より受付を開始し、定員に達した時点で締切とさせていただきます。

皆様のご来場を心よりお待ちしております。

【ホームページアドレス】 <http://www.fesc.or.jp/ihanzesei/symposium/index.html>

【申し込み期間】 8 月 1 日 (木) から定員に達するまで

【問合せ先】 企画研究部 岡田、根廻 TEL : 03-3501-7910 E-mail : kikaku10@fesc.or.jp

◆ 第67回全国消防技術者会議の開催について

消防研究センター

消防研究センターでは、全国の消防技術者が消防防災の科学技術に関する調査研究、技術開発等の成果を発表するとともに、聴講者と討論を行う「全国消防技術者会議」を毎年開催しております。本会議では、消防関係者による一般発表に加え、2019年度消防防災科学技術賞の表彰式および受賞者による口頭発表・展示発表、さらに、消防研究センターにおける研究成果等を発表する「第23回消防防災研究講演会」も併せて実施します。皆様のご参加をお待ちしております。

記

- | | |
|-----------|---|
| 1 開催日 | 第1日 令和元年 11月21日(木)
第2日 令和元年 11月22日(金) |
| 2 場所 | ニッショーホール(日本消防会館)
東京都港区虎ノ門2-9-16 |
| 3 定員 | 両日とも先着 650人(参加費無料) |
| 4 内容 | 【11月21日(木)】
●特別講演
講師：不破 泰(信州大学 総合情報センター長)
演題：「Society 5.0による安全・安心な地域の実現」
●2019年度消防防災科学技術賞表彰作品の表彰式・発表
【11月22日(金)】
●消防関係者による一般発表
●第23回消防防災研究講演会
消防研究センターの研究成果を発表し、聴講された消防関係者や消防防災分野の技術者との意見交換を行います。 |
| 5 プログラム | 消防研究センターのホームページ(http://nrifd.fdma.go.jp/)をご覧ください(「イベント情報」欄の「【技術】第67回全国消防技術者会議」のリンクをクリック)。逐次詳細なものに更新します。 |
| 6 参加申込み方法 | 消防研究センターのホームページから、申込専用サイトにアクセスし、必要事項を入力してください。申込みを取り消す場合又は申込み内容を変更する場合にも、このサイトをご利用ください。

なお、上記の方法が難しい場合は、メールでお問い合わせください。 |
| 7 参加申込み期間 | 8月12日(月)から11月17日(日)まで |
| 8 連絡先 | 消防庁 消防研究センター 研究企画室
〒182-8508 東京都調布市深大寺東町4-35-3
TEL:0422-44-8331 FAX:0422-42-7719
E-mail : 67_gijutsusha@fri.go.jp |

◆ 東京消防庁における令和2年度長期受託研修に関するお知らせについて

東京消防庁（東京）

東京消防庁では、令和元年度に引き続き、令和2年度長期受託研修を実施します。この受託研修は、各消防本部の希望職員を対象とし、当該職員が東京消防庁本庁部門において業務に従事することによる、OJT（職場内指導）を通じた能力向上を目的としています。

希望する消防本部は下記に示す要領を確認の上、お申し込みください。

なお、令和2年度短期受託研修（高度救助技術及び火災調査技術）については、別途、お知らせします。

<申込受付期間>

令和元年11月1日（金）から令和元年12月13日（金）まで

<申込方法>

希望する研修内容、研修を希望する理由について記載し（様式は問いません。）、下記電子メールアドレスまで送付してください。（多数の応募があった場合、受け入れを調整する可能性があります。）

<研修時期>

令和2年4月1日から令和3年3月31日まで（原則として1年間）

<研修生の身分、給与等>

研修生は東京消防庁職員として併任します。

研修生の給料、手当、旅費、宿泊費その他一切の費用は派遣元消防本部の負担となります。

研修生は、研修の内容に関連する実務経験を有する消防司令補又は消防士長の階級にある職員とします。

<研修内容（例）>

部	研修内容	部	研修内容
企画調整部	○重要事業計画関連事務 ○行政評価、業務の効率化関連事務 ○広報に関する企画・調整 ○広報イベント等の企画・実施 ○印刷物等の企画・制作 ○新聞、テレビ等への取材対応 ○災害現場における広報支援活動 ○東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会開催に向けた事前準備事務	総務部	○式典・行事（出初式等）関係事務 ○法務事務（訴訟、不服申立て、損害賠償、被害事案等） ○国際業務（外国人視察対応等）事務 ○経理実務全般 ○消防庁舎の計画・設計・施工・保全及び管財事務 ○各種情報通信システムの保守管理事務、情報セキュリティ対策
人事部	○人事制度の企画・立案 ○採用試験事務 ○募集広報事務 ○表彰式典関係事務	警防部	○指揮隊の消防活動能力向上に関する技術指導及び関係事務 ○出場計画等に関する制度の立案 ○消防戦術の調査及び立案 ○消防特別警戒関係事務 ○消防資器材の整備計画関係事務 ○震災消防活動に関する調査及び立案 ○救助技術の調査研究及び指導 ○消防活動訓練の技術指導及び関係事務 ○警防業務における安全管理関係事務 ○NBC災害や船舶・航空機・林野火災等の特殊災害消防活動対策事務 ○テロ災害事象の調査研究及び消防活動対策 ○指令管制関係事務

防災部	○防火防災訓練の訓練指導関係事務 ○総合防災教育関係事務 ○消防少年団（少年消防クラブ）育成指導関係事務 ○都民防災教育センター関係事務 ○高齢者等の防災指導関係事務 ○住宅防火対策及び放火防止対策関係事務 ○災害時支援ボランティア関係事務 ○震災消防対策システム事務 ○家具類の転倒・落下・移動防止対策事務 ○地域防災計画、国民保護事務 ○東京都総合防災訓練事務 ○火災予防審議会事務 ○消防水利施設の設計及び工事監理関係事務 ○消防団員募集広報事務 ○消防団装備・施設事務 ○消防団活動・計画事務	救急部	○メディカルコントロール体制運営・調整事務 ○救急統計事務 ○救急需要対策事務 ○救急資器材管理事務 ○救急医療体制事務 ○救急相談センター運営事務 ○救急技術関係事務 ○応急手当普及啓発関係事務 ○救急活動照会関係事務
予防部	○消防同意に関する事務 ○消防用設備等の技術指導 ○火気・電気設備器具の技術指導 ○危険物施設等の許認可、検査事務 ○危険物施設等の基準作成事務 ○危険物施設等の火災予防措置事務 ○石油コンビナート等特別防災区域に関する事務 ○立入検査、違反処理に関する事務 ○各種点検報告に関する事務 ○禁止行為の解除承認事務 ○違反対象物の公表に関する事務 ○火災原因、損害状況の調査事務 ○火災調査資料の収集、分析事務 ○防火防災管理制度に関する事務 ○自衛消防の指導事務	装備部	○車両及び個人装備品（被服を含む。）製作事務 ○消防装備資器材の買入れ事務 ○消防艇の法定整備、塗装整備事務 ○機関員（舟艇を含む。）の育成に関する事務 ○消防車両、舟艇の安全運行に関する事務 ○消防機械器具整備事務 ○航空機の運航事務
消防学校	○教養計画関係事務 ○消防団教育訓練事務	消防技術安全所	○振動実験装置を活用した地震被害軽減に係る検証 ○火災性状及び装備に関する検証 ○消防用設備等及び都民生活の安全化に関する検証 ○恒温恒湿室を活用した熱中症予防に係る検証 ○火災鑑定・危険物判定試験事務

※ 原則として、派遣期間は一つの課に配属されます。

※ 希望する課の募集が集中した場合、他の部や課への変更を考慮していただく可能性があります。

上記の例以外の研修内容や派遣期間等、ご要望がございましたら、下記連絡先までお問合せください。

問合せ先
 東京消防庁人事部人事課
 試験研修係 亀山 稲富
 電話 03-3212-2111 内線 3145
 電子メール jinjika4@tfd.metro.tokyo.jp

◆ 「平成31年版消防現勢」の発行及び調査結果の提供について

全国消防長会

全国消防長会では、平成31年4月1日付け全消発第4号「消防現勢等調査及び消防装備等実態調査の実施について」により実施した調査結果を取りまとめ、「平成31年版消防現勢」を発行しました。

「平成31年版消防現勢」の冊子は、令和元年7月25日（木）付けで各消防本部（局）へ発送しました。全ての調査結果につきましては、全国消防長会情報管理システム内でダウンロードできますので、ご活用ください。

なお、調査結果を活用の際には、全国消防長会情報管理システム運用管理規程及び全国消防長会情報管理システムデータ保護管理規程を順守していただくとともに、適正な使用並びに管理を行っていただきますようお願いいたします。

（全国消防長会ホームページにおいても、調査結果の一部を公開しております。）

【問い合わせ先】

企画部情報管理課 宮崎・中嶋

電話 03-3234-1321

FAX 03-3234-1847

E-mail joho-ig@fcaj.gr.jp

機関誌「ほのお」記事募集

一般財団法人全国消防協会では、機関誌「ほのお」に関して、各消防本部より次の投稿記事を募集しています。

①トップ・セカンド記事

②知識・技術の伝承—教えて！消防技術—

③女性職員の活躍・推進

※①・②・③の執筆要領等の詳細は、週間情報№0117又は機関誌「ほのお」2019年4号（4／25発刊）を参照願います。

TEL：03-3234-1321 機関誌「ほのお」担当：企画課 石井

原稿データは、kikachosei@fcaj.gr.jpに送信願います。

③ 消防ワイド

※150文字程度（160文字以内）の原稿Wordデータ及び画像データはWord等に貼り付けずに、JPEGデータのまま送付してください。

TEL：03-3234-1321 機関誌「ほのお」（消防ワイド）担当：情報管理課 渋谷

原稿データは、joho-sys@fcaj.gr.jpに送信願います。

ご投稿をお待ちしております。

※添付ファイルの容量が5MBを超える場合は、分割して送信願います。

週間情報への投稿は企画課へ！

週間情報では、各本部の身近な情報を掲載していますので情報をお寄せ下さい。

TEL：03-3234-1321 / E-mail：weekly@fcaj.gr.jp

記事の投稿に関する注意点

- ・配信日（原則火曜日）から2週間以内のイベント、訓練等を中心に掲載しています。
- ・文章は、Wordで200字～400字程度で作成をお願いします。
- ・写真は、1枚～2枚をWordに貼り付けて送付してください。
（貼り付けできない場合は、JPEG画像データを送付してください。）
- ・掲載が決定した場合のみ、担当者よりメールを返信させていただきます。

TEL：03-3234-1321「週間情報」担当：企画課 清田